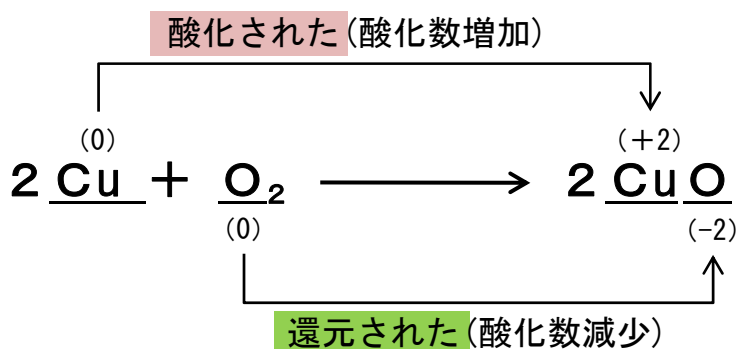


C 酸化還元反応と酸化数

酸化還元反応で、単体や化合物の中の原子が受けた変化は、酸化数を用いて、次のように言い表すことができる。

「化学反応で、ある原子の酸化数が増加したとき、その原子（またはその原子を含む物質）は酸化されたといい、ある原子の酸化数が減少したとき、その原子（またはその原子を含む物質）は還元されたという。」

例えば、CuがO₂と化合してCuOを生じる反応では、各原子の酸化数の変化は次のようになる。



つまり、この反応ではCu原子は酸化され、O原子は還元されている。